



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 株式会社ディー・エヌ・エー 上場取引所 東
コード番号 2432 URL <https://dena.com/jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長兼CEO（氏名） 岡村 信悟
問合せ先責任者（役職名） 経営企画本部 本部長（氏名） 大谷 駿明 (TEL) 03(6758)7200
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	75,147	5.5	4,801	△32.1	10,110	△38.2	6,798	△41.1	7,402	△33.3	13,800	98.1
2023年3月期第2四半期	71,223	4.6	7,076	△47.0	16,347	△41.3	11,532	△49.9	11,090	△51.1	6,967	△50.7

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	66	48	66	41
2023年3月期第2四半期	94	22	94	13

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分合計	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	345,581	246,169	234,048	67.7
2023年3月期	348,942	233,993	221,626	63.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2023年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 2024年3月期の配当予想は未定です。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

2024年3月期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、2023年3月期と比して増収、また、一時損益を除き、同営業増益を目指してまいります。各事業の動向等の主に想定される業績変動要因につきましては、2023年5月10日に公表しました「2023年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」の「1. 経営成績・財政状態の概況（1）当期の経営成績の概況（次期の見通し）」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	122,145,545株	2023年3月期	122,145,545株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	10,801,216株	2023年3月期	10,805,997株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	111,342,963株	2023年3月期2Q	117,699,544株
------------	--------------	------------	--------------

(注) 自己株式数については、株式付与ESOP信託口が所有する当社株式(2024年3月期2Q:174,090株、2023年3月期:178,871株)を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 連結業績予想に関して

本資料における将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 配当予想金額に関して

2024年3月期の配当予想につきましては、業績の進捗等を総合的に勘案して金額を決定する予定です。決定次第、速やかに開示いたします。

(3) 決算補足資料の入手方法

当社は、2023年11月8日に機関投資家・アナリスト・報道機関向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、当日の当期決算短信の適時開示後、当社ホームページに掲載いたします。また、決算説明会の動画、主な質疑応答等については、後日当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態の概況	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 継続企業の前提に関する注記	11
(7) 要約四半期連結財務諸表注記	11
① セグメント情報	11
② 1株当たり利益	14
③ 持分法で会計処理している投資	14
④ 重要な後発事象	14

1. 経営成績・財政状態の概況

(1) 経営成績の概況

当社グループは、中長期で企業価値を向上させるべく、エンターテインメント領域と社会課題領域の2つの領域の特徴を活かした収益基盤の形成、及び両領域のシナジー形成を含めたIT企業の新しい進化の体現、また、一層強い事業ポートフォリオ実現に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)において、売上収益は、75,147百万円(前年同期比5.5%増)となりました。前年同期比で、ゲーム事業は減収となったものの、この他いずれの事業も増収となりました。

売上原価については、39,396百万円(前年同期比9.9%増)となりました。前連結会計年度の主にヘルスケア・メディカル事業における新規連結に伴う業務委託費や、スポーツ事業の成長に伴う費用、ゲーム事業における新規タイトルのリリースに伴う償却費が増加しました。

販売費及び一般管理費は、30,853百万円(前年同期比7.1%増)となりました。主にヘルスケア・メディカル事業における新規連結に伴う人件費の増加があった一方、ゲーム事業の業績推移に応じ、支払手数料が減少しました。

金融収益は、3,940百万円(前年同期比55.0%減)となりました。

持分法による投資利益は、1,451百万円(前年同期比140.2%増)となりました。前年同期比では、主な持分法適用関連会社であるGO株式会社における第三者割当増資による一時収益の計上や、株式会社Cygames等の業績動向等が変動要因となりました。

以上の結果、当社グループの売上収益は75,147百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は4,801百万円(同32.1%減)、税引前四半期利益は10,110百万円(同38.2%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は7,402百万円(同33.3%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①ゲーム事業

ゲーム事業の売上収益は26,351百万円(前年同期比19.4%減)、セグメント利益は423百万円(同89.5%減)となりました。

2023年6月末に新規タイトルのリリースがあったものの、既存のタイトルを中心とした事業運営となり、ユーザ消費額は前年同期比で減少し、前年同期比で減収減益となりました。

②ライブストーリーミング事業

ライブストーリーミング事業の売上収益は21,844百万円(前年同期比11.5%増)、セグメント損失は89百万円(前年同期は358百万円の損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、国内の「Pococha(ポコチャ)」及び「IRIAM(イリアム)」を中心に引き続き成長しました。海外のPocochaでは、地域ごとの適切な運営につき検証を行いつつ、投資の最適化も進めました。

③スポーツ事業

スポーツ事業の売上収益は21,260百万円(前年同期比34.6%増)、セグメント利益は7,446百万円(前年同期比61.4%増)となりました。

新型コロナウイルス感染症の影響による観客動員の制約を受ける以前の2020年3月期と比較しても業績は引き続き成長しました。

④ヘルスケア・メディカル事業

ヘルスケア・メディカル事業の売上収益は4,226百万円(前年同期比133.3%増)、セグメント損失は2,206百万円(前年同期は912百万円の損失)となりました。

当社は、中長期の成長機会を積極的に捉えるべく、新たな成長・挑戦に向けたM&A等を進めてまいりましたが、当該事業においては、前連結会計年度中に、事業ポートフォリオの強化が大きく進捗しました。2022年8月3日には

株式会社データホライズンが、2022年10月3日には株式会社アルムがそれぞれ当社の連結子会社となり、以降、各社の業績を当該事業の業績に含んでおります。

⑤新規事業・その他

新規事業・その他の売上収益は1,523百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント損失は588百万円（前年同期は369百万円の損失）となりました。

当区分には、中長期での事業ポートフォリオの強化を目指した各種取り組みやEC事業におけるサービス等を含んでおります。

(2) 財政状態及びキャッシュ・フローの概況

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は345,581百万円（前連結会計年度末比3,361百万円減）となりました。

流動資産は112,976百万円（同20,365百万円減）となりました。主な減少要因は現金及び現金同等物が13,570百万円減少したこと等によるものであります。

非流動資産は232,605百万円（同17,005百万円増）となりました。主な増加要因はその他の長期金融資産が11,055百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は99,413百万円（同15,536百万円減）となりました。

流動負債は32,383百万円（同18,266百万円減）となりました。主な減少要因は未払法人所得税が8,531百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は67,030百万円（同2,729百万円増）となりました。主な増加要因は繰延税金負債が3,872百万円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の資本合計は246,169百万円（同12,176百万円増）となりました。主な増加要因は親会社の所有者に帰属する持分合計が12,422百万円増加したこと等によるものであります。

流動性に関する指標としては、当第2四半期連結会計期間末において流動比率348.9%、親会社所有者帰属持分比率67.7%となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13,570百万円減少し、84,163百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は4,415百万円（前年同期は12,196百万円の収入）となりました。主な収入要因は売掛金及びその他の短期債権の減少額7,270百万円、主な支出要因は法人所得税支払額11,851百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6,515百万円（前年同期は13,359百万円の収入）となりました。主な支出要因は無形資産の取得3,296百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3,912百万円（前年同期は5,196百万円の収入）となりました。主な支出要因は配当金支払額2,228百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、合理的な数値の算出が困難であるため、開示を見合わせておりますが、2023年3月期と比して増収、また、一時損益を除き、同営業増益を目指してまいります。

各事業の動向等の主に想定される業績変動要因につきましては、2023年5月10日に公表しました「2023年3月期決算短信〔IFRS〕(連結)」の「1. 経営成績・財政状態の概況 (1) 当期の経営成績の概況 (次期の見通し)」をご参照ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	97,732	84,163
売掛金及びその他の短期債権	27,566	20,882
その他の短期金融資産	277	715
その他の流動資産	7,766	7,217
流動資産合計	133,341	112,976
非流動資産		
有形固定資産	3,163	5,868
使用権資産	17,034	16,281
のれん	49,088	49,088
無形資産	23,036	24,159
持分法で会計処理している投資	57,954	60,715
その他の長期金融資産	63,162	74,217
繰延税金資産	517	1,334
その他の非流動資産	1,647	945
非流動資産合計	215,601	232,605
資産合計	348,942	345,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	19,397	17,022
借入金	2,715	2,262
リース負債	1,465	1,380
未払法人所得税	11,169	2,638
引当金	2,434	2,486
その他の短期金融負債	795	1,121
その他の流動負債	12,673	5,473
流動負債合計	50,648	32,383
非流動負債		
借入金	35,040	34,575
リース負債	5,937	5,301
引当金	215	240
その他の長期金融負債	462	389
繰延税金負債	22,331	26,203
その他の非流動負債	317	322
非流動負債合計	64,301	67,030
負債合計	114,949	99,413
資本		
資本金	10,397	10,397
資本剰余金	15,591	15,788
利益剰余金	193,586	198,764
自己株式	△20,794	△20,778
その他の資本の構成要素	22,846	29,878
親会社の所有者に帰属する持分合計	221,626	234,048
非支配持分	12,367	12,120
資本合計	233,993	246,169
負債及び資本合計	348,942	345,581

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	71,223	75,147
売上原価	△35,834	△39,396
売上総利益	35,389	35,751
販売費及び一般管理費	△28,817	△30,853
その他の収益	617	207
その他の費用	△112	△304
営業利益	7,076	4,801
金融収益	8,749	3,940
金融費用	△82	△82
持分法による投資損益 (△は損失)	604	1,451
税引前四半期利益	16,347	10,110
法人所得税費用	△4,815	△3,313
四半期利益	11,532	6,798
以下に帰属する四半期利益 (損失)		
四半期利益：親会社の所有者に帰属	11,090	7,402
四半期利益 (損失)：非支配持分に帰属	442	△604
合計	11,532	6,798
(単位：円)		
親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	94.22	66.48
希薄化後1株当たり四半期利益	94.13	66.41

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益	11,532	6,798
その他の包括利益		
純損益に振り替えられないその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
資本性金融商品への投資による利得(損失) (税引後)	△5,287	6,612
純損益に振り替えられないその他の包括利益の 内訳項目(税引後)合計	△5,287	6,612
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)		
為替換算差額(税引後)	406	194
キャッシュ・フロー・ヘッジ	323	193
その他	△7	3
純損益に振り替えられるその他の包括利益の内 訳項目(税引後)合計	721	390
その他の包括利益(税引後)	△4,565	7,002
四半期包括利益合計	6,967	13,800
以下に帰属する四半期包括利益		
四半期包括利益：親会社の所有者に帰属	6,524	14,404
四半期包括利益：非支配持分に帰属	442	△604
合計	6,967	13,800

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年4月1日残高	10,397	16,077	177,997	△22,819	58,975	240,626	4,280	244,907
四半期利益	-	-	11,090	-	-	11,090	442	11,532
その他の包括利益	-	-	-	-	△4,566	△4,566	0	△4,565
四半期包括利益合計	-	-	11,090	-	△4,566	6,524	442	6,967
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△4,623	-	-	△4,623	△186	△4,809
自己株式取引による増加(減少)	-	△23	-	△5,144	△4	△5,170	-	△5,170
株式報酬取引による増加(減少)	-	20	-	-	75	95	-	95
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	6	△6	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	86	-	-	-	86	495	581
子会社の支配獲得に伴う変動	-	-	-	-	50	50	2,243	2,293
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	△110	26,740	-	△26,740	△110	64	△46
2022年9月30日残高	10,397	16,058	211,197	△27,963	27,790	237,479	7,339	244,818

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年4月1日残高	10,397	15,591	193,586	△20,794	22,846	221,626	12,367	233,993
四半期利益又は四半期損失(△)	-	-	7,402	-	-	7,402	△604	6,798
その他の包括利益	-	-	-	-	7,002	7,002	0	7,002
四半期包括利益合計	-	-	7,402	-	7,002	14,404	△604	13,800
所有者への分配として認識した 配当	-	-	△2,227	-	-	△2,227	△192	△2,419
自己株式取引による増加(減少)	-	△16	-	16	-	-	-	-
株式報酬取引による増加(減少)	-	△15	-	-	40	25	-	25
利益剰余金から資本剰余金への 振替	-	7	△7	-	-	-	-	-
非支配持分の取得及び処分等	-	228	-	-	-	228	473	701
振替及びその他の変動による 増加(減少)	-	△7	10	-	△10	△7	76	69
2023年9月30日残高	10,397	15,788	198,764	△20,778	29,878	234,048	12,120	246,169

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	16,347	10,110
減価償却費及び償却費	2,560	3,199
減損損失	-	64
有価証券損益(△は益)	△4,609	△1,555
受取利息及び受取配当金	△2,548	△1,174
支払利息	55	82
持分法による投資損益(△は益)	△604	△1,451
売掛金及びその他の短期債権の増減額(△は増加)	6,384	7,270
買掛金及びその他の短期債務の増減額(△は減少)	△2,463	△3,695
前受金の増減額(△は減少)	△7,081	△7,661
その他	1,597	971
小計	9,639	6,161
配当金受取額	2,545	1,304
利息支払額	△37	△68
利息受取額	40	0
法人所得税支払額	△969	△11,851
法人所得税還付額	978	39
営業活動による正味キャッシュ・フロー	12,196	△4,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
子会社又はその他の事業の取得による支出	△6,606	-
関連会社株式の取得のための支出	△24,924	△538
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	50,090	304
有価証券及び投資有価証券の取得のための支出	△1,479	△771
有形固定資産の取得	△288	△2,796
無形資産の取得	△3,125	△3,296
資産除去債務の履行による支出	△104	△68
敷金及び保証金の回収による収入	-	131
その他	△204	519
投資活動による正味キャッシュ・フロー	13,359	△6,515
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	15,700	△694
長期借入金の返済による支出	△11	△241
リース負債の返済	△1,040	△898
配当金支払額	△4,621	△2,228
非支配持分からの払込による収入	500	325
非支配持分への配当金の支払額	△182	△192
自己株式の処分による収入	20	16
自己株式の取得のための支出	△5,169	-
その他	-	△0
財務活動による正味キャッシュ・フロー	5,196	△3,912
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	30,751	△14,842
現金及び現金同等物の期首残高	78,296	97,732
現金及び現金同等物の為替変動による影響	2,144	1,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	111,192	84,163

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 要約四半期連結財務諸表注記

① セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループは、主にモバイル・PC向けのインターネットサービスを提供しており、サービスの種類別に事業部門等を設置しております。各事業部門等は、取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、サービスの種類別のセグメントから構成されており、「ゲーム事業」、「ライブストリーミング事業」、「スポーツ事業」、「ヘルスケア・メディカル事業」の4つを報告セグメントとしております。

各セグメント区分に属するサービスの種類は、以下のとおりであります。

セグメント区分	サービスの種類
ゲーム事業	モバイル向けゲーム関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ゲームアプリの配信、「Mobage（モバゲー）」等
ライブストリーミング事業	ライブストリーミング関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： 「Pococha（ポコチャ）」、「IRIAM（イリアム）」等
スポーツ事業	スポーツ関連サービス（日本国内） 主要サービス： 「横浜DeNAベイスターズ」、「横浜スタジアム」の運営、「川崎ブレイブサンダース」、「SC相模原」等
ヘルスケア・メディカル事業	ヘルスケア・メディカル関連サービス（日本国内及び海外） 主要サービス： ヘルスビッグデータ関連サービスの提供、「Join（ジョイン）」をはじめとする医療DX関連サービス等
新規事業・その他	新規事業及びその他サービス（日本国内） 主要事業領域： EC事業、その他の新規事業等

(2) 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、及びその他の項目

報告セグメントの会計方針は、2023年3月31日に終了した連結会計年度に係る連結財務諸表で記載している当社グループの会計方針と同一であります。

報告セグメント間の売上収益は市場実勢価格に基づいております。

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は以下のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間

(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業 (注) 2	新規事業 ・その他 (注) 3	調整額 (注) 4	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	32,687	19,590	15,784	1,809	1,353	—	71,223
セグメント間の売上収益	14	—	16	2	7	△39	—
計	32,700	19,590	15,800	1,811	1,360	△39	71,223
セグメント利益(損失) (注) 1	4,014	△358	4,614	△912	△369	△418	6,572
その他の収益・費用(純額)							505
営業利益							7,076
金融収益・費用(純額)							8,666
持分法による投資損益(△は損失)							604
税引前四半期利益							16,347

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 2022年8月3日付で、株式会社データホライズンを当社の連結子会社といたしました。これにより、第2四半期連結累計期間より同社の業績を「ヘルスケア・メディカル事業」に含めております。

3 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

4 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間

(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	ゲーム事業	ライブスト リーミング 事業	スポーツ 事業	ヘルスケア ・メディカ ル事業	新規事業 ・その他 (注) 2	調整額 (注) 3	合計
売上収益							
外部顧客からの売上収益	26,298	21,844	21,258	4,226	1,521	—	75,147
セグメント間の売上収益	52	—	2	—	1	△55	—
計	26,351	21,844	21,260	4,226	1,523	△55	75,147
セグメント利益(損失) (注) 1	423	△89	7,446	△2,206	△588	△88	4,899
その他の収益・費用(純額)							△98
営業利益							4,801
金融収益・費用(純額)							3,857
持分法による投資損益(△は損失)							1,451
税引前四半期利益							10,110

(注) 1 セグメント利益(損失)は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2 「新規事業・その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業・その他の新規事業等を含んでおります。

3 セグメント利益(損失)の調整額は全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② 1株当たり利益

親会社の所有者に帰属する1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	11,090	7,402
四半期利益調整額		
：子会社の発行する潜在株式に係る調整額	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益	11,090	7,402
基本的期中平均普通株式数 (株)	117,699,544	111,342,963
希薄化性潜在的普通株式の影響		
：ストック・オプション等	108,620	114,888
希薄化後の期中平均普通株式数	117,808,164	111,457,851
親会社の所有者に帰属する1株当たり 四半期利益 (円)		
基本的1株当たり四半期利益	94.22	66.48
希薄化後1株当たり四半期利益	94.13	66.41
逆希薄化効果を有するため、希薄化後1株当たり 四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	連結子会社の発行するストック・オプション(ストック・オプションの目的となる子会社の普通株式の数171,900株)	連結子会社の発行するストック・オプション(ストック・オプションの目的となる子会社の普通株式の数132,000株)

③ 持分法で会計処理している投資

当社の持分法適用関連会社であるG0株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：中島 宏)は、金融投資家1社を割当先とする第三者割当増資を実施いたしました。

これにより、当社の同社に対する持分比率は25.9%(前連結会計年度末時点は28.1%)となり、当該持分変動に伴い生じる一時的な利益影響を、当第2四半期連結累計期間の要約四半期連結損益計算書において「持分法による投資損益(△は損失)」に2,429百万円を計上しております。

④ 重要な後発事象

該当事項はありません。